

ようこそ日高川へ！ 未来に向かう交流のハブ

日高川町日高川交流センター



日高川交流センター



鷲の川の大滝



公民館の沿革・年表

- 昭和47年 中津村中央公民館開設
- 昭和61年 あやめ学園開園（高齢者の学び支援）
- 平成17年 川辺町・中津村・美山村が合併し日高川町となる
中津公民館開設
- 平成20年 日高川交流センター新設
- 平成30年 日高川町中央公民館開設
- 令和 3年 県立日高高校中津分校学校運営協議会に参画

左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

【上段写真：日高川交流センター】

日高川の中流域に位置し、紀伊山地の山々に囲まれた自然豊かな環境にある。最大504名を収容できるホールを備え、地域住民の交流センターとして親しまれている。また、中央公民館も併設しており、**まちづくりや生涯学習の活動拠点**となっている。

【下段写真：鷲の川の大滝】

日高川町観光協会との連携で実施されている、「鷲の川 渓流アマゴ釣り」体験は、親子で大自然を満喫できると近年人気が高まっている。また、紅葉シーズンにハイキングに訪れる方も増えている。

1. 都道府県名	和歌山県	3. 公民館対象人口	9,590人	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN（Wi-Fi等）
2. 市区町村名	日高川町	4. 建物設置年月日	平成20年5月1日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者（〇〇地区まちづくり協議会） <input type="checkbox"/> その他（ ）				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 130人 <input type="checkbox"/> その他 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 4,682人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 1,100人	合計	5,912人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 （職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人）	<input type="checkbox"/> 兼任 0人	<input type="checkbox"/> 非常勤 0人 （職員のうち社会教育士の数 0人）	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	合計 3人
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他（社会教育委員会議）				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他（多世代交流）				
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述（最大504名収容できるホールを備えている）				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input checked="" type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 なかつ保育所、中津小学校、中津中学校、日高高校中津分校、和歌山大学、紀州体験交流ゆめ倶楽部、大阪狭山市、泉大津市				



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

日高川町は、古くから農林業を基幹産業として発展してきた。現在は、安定した品質で全国でも人気の高い柑橘類、野菜類、また、山間部では、梅や椎茸、千両の栽培が盛んである。また林業では、スギやヒノキ材のブランド化も促進して地産地消拡大を推奨しており、紀州備長炭の生産量は日本一である。まち・ひと・しごと創生総合戦略では5つの基本目標（①安定した雇用を創出する ②**地域への人の流れをつくる** ③結婚・出産・子育ての希望をかなえる ④安心安全な暮らしを実現する ⑤**時代に合った地域をつくる**）を掲げて、まちづくりに取り組んでいるところである。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【ひだかがわ体験（地域資源を活用したまちづくり）】

平成14年に設立した「ゆめ倶楽部 2 1」は「**体験から交流、交流から定住へ**」をテーマに体験型観光、農家民泊、移住者の受入を行っており、日高川交流センターはその活動拠点となっている。

【あやめ学園（健康づくり、高齢者の学び支援）】

昭和61年に開園した「あやめ学園」は、高齢者の生涯学習、生活・文化の向上発展に努めている。毎年行っているあやめ学園と子ども会との世代間交流事業では、陶芸・手芸・盆栽・カラオケの講座を通して多世代交流が図られている。

【あやめ踊り（地域振興や伝統文化継承活動）】

元禄時代の歌舞伎女形で旧中津村地域出身の芳澤あやめを顕彰するために生まれた「あやめ踊り」を小学生、中学生に継承する活動に取り組んでいる。

【ジュニア文化フェスティバル（子どもの体験活動の充実、若者のまちづくり参画）】

子どもたちの文化発表「ジュニア文化フェスティバル」を開催し、若者世代の公民館利用促進につながっている。町内だけでなく、周辺市町からの参加者も増加傾向にあり、従来の文化発表に加えてヒップホップダンスやクラシックバレエ等に広がりを見せている。また、運営スタッフとして参加しているボランティアとの世代間交流につながっている。



民泊で田舎の生活を体験



あやめ踊り

3. 取組による成果や効果

- 平成20年に日高川交流センターが開設されると同時に自主事業実行委員会及びボランティアスタッフが組織され、自主的なイベントの企画、運営に携わっている。
- 現在、委員及びボランティアスタッフ総勢34名のうちIターン者が13名おり、**地域コミュニティの活性化**につながっている。
- 地域おこし協力隊で活動し、その後定住された方を講師に招き、公民館講座（スマホ・タブレット教室）を開催している。また、IT企業での職歴を活かし、県立日高高校中津分校でeコマースの出張授業を開催している。
- 平成14年に設立したゆめ倶楽部 2 1は、令和3年4月に日高地域で組織された紀州体験交流ゆめ倶楽部に形を変え、**広域的な活動を行う**団体となった。



地域の高校での出張授業

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 社会教育委員会を年4回開催し、実績報告や次年度計画を諮っている。また、**委員の循環**を図るため、多世代に委員を委嘱している。
- 県立日高高校中津分校**学校運営協議会**（館長が委員として参画している。）で、**課題やビジョンを共有**し、**地域・学校・行政の連携・協働**を図っている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

子どもたちが地域の文化を学び、地域を知ることによって日高川町に住み続けたい、将来日高川町に戻ってきたいまちをめざす。そのために日高川交流センターが地域住民の交流の拠点、文化の拠点となるように力をいれていきたい。また、町外から**地域への人の流れをつくる**拠点として、**未来に向かう交流のハブ**にしていきたい。

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

少子高齢化が進み、小中学校の統廃合が検討される中、地域住民の交流の拠点としての日高川交流センターの役割は大きくなっていく。外部からの“新しい風”を意図的に吹かせ、**時代に合った地域をつくる**ことを地域住民と共有していきたい。



日高川交流センターまつり